第8回 松林防除実践講座のご報告

1日目 座学

当センターは、松保護士等を対象に松林の適切な防除計画の策定と的確な防除の実施に必要な技術·知識の習得を目的とする松林防除実践講座を平成17年度より実施しているが、平成24年度は9月13日(木)~14日(金)の2日間石川県加賀市において開催した。

この講座には、全国の松保護士、樹木医、 市町村の森林病虫害防除担当者、森林組合 職員など総勢50名が参加した。

1日目は加賀市市民会館を研修会場とし、 13:00当センター小禄常務理事による開会 の辞に続き、来賓として近畿中国森林管理 局中西森林整備部長、石川県南加賀農林総 合事務所朝田所長よりご挨拶をいただい た。



加賀市民会館大ホール



近畿中国森林管理局中西森林整備部長



石川県南加賀農林総合事務所朝田所長

講座では、石川県森林管理課中橋専門員から「石川県における松枯れの現状と対策について」、近畿中国森林管理局石川森林管理署岡署長より「石川森林管理署の概要と松くい虫被害対策」、近畿中国森林管理局中西森林整備部長から「海岸防災林の再生について」のご報告を受けた。石川県では海岸林の保全に熱心な地元のグループが活発に活動していることから、瀬越町松林保全対策連絡協議会西山会長と高坂・根上町緑を守る会北村会長よりグループの取り組みを発表していただいた。



石川県森林管理課中橋専門員



近畿中国森林管理局石川森林管理署岡署長



瀬越町松林保全対策連絡協議会西山会長



高坂・根上町緑を守る会北村会長

休憩をはさみ、近年全国的に被害が拡散している「ナラ枯れの現状と対策」について森林総合研究所関西 支所生物被害研究グループ衣浦グループ長の特別報告、最後に、東京農業大学本山客員教授による「松く い虫で激害の発生した最近の事例の共通の原因 - 島根県出雲市、千葉県平砂浦と九十九里、新潟県胎内市 を例として」について特別講演をいただいた。



森林総合研究所関西支所生物被害研究グループ 衣浦グループ長



東京農業大学本山客員教授

2日目 実習

2日目は、加賀海岸自然休養林(国有林)において、最初にクロマツ天然下種更新を進める上木試験地に おいて、近畿中国森林管理局石川森林管理署武部次長より試験概要の説明を受けた。

次に、実習場所へ移動し、「潜在感染木」の有無確認のために重要な判断手法である小田式松脂滲出調査 要領の説明を石川県農林総合研究センター林業試験場千木森林環境部長より受け、当年枯死木の周辺に生 立するクロマツを参加者がポンチを使い樹皮を剥離した。





クロマツ天然下種更新(上木試験地)

石川森林管理署武部次長

その後被害木を伐倒し、県林業試験場による材片採取、ベールマン漏斗への設置要領の説明を受けた。また、長さ1m程度に玉切りした丸太の後食痕・産卵痕、マダラカミキリ幼虫の観察を行った。参加者はグループに別れ、住化グリーン(株)による被害木のくん蒸処理、井筒屋化学産業(株)による天敵微生物製剤「バイオリサ・マダラ」(ボーベリア菌シート)の実習、石原バイオサイエンス(株)による土壌灌注の実習を行った。

実習の終わりには、小田式松脂滲出調査で参加者が自分で穿孔した孔からの松脂滲出を調べ、健全木であることの様子を確認した後、保護剤による剥皮部分の補修を行い、加賀海岸自然休養林での実習を終了した。



被害木の伐倒

材片の採取



外生菌根菌の菌子束観察

くん蒸処理(協力:住化グリーン株式会社)



天敵微生物製剤の施用 (協力:井筒屋化学産業株式会社)

土壌灌注(協力:石原バイオサイエンス株式会社)

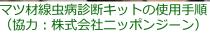


小田式松脂滲出調査

松脂の滲出状態

実習場所から再び加賀市市民会館へ移動、(株)ニッポンジーンによるマツ材線虫病診断キットの使用手順の解説、住化グリーン(株)によるナラ枯れ予防樹幹注入剤の使用手順の解説、県林業試験場によるマツノザイセンチュウの顕微鏡による確認実習を行った。さらに、今回ご協力いただいた資材メーカー4社から補足説明、資料提供を受けた。 …







ナラ枯れ予防樹幹注入剤の使用手順 (協力:住化グリーン株式会社)

最後に、当センター小禄常務理事より参加者の皆様へ講座修了証の交付を行い、2日間の講座全日程を 盛況のうちに終了した。

本講座の運営に際しては、近畿中国森林管理局石川森林管理署、石川県農林総合研究センター林業試験場、加賀市に大変ご尽力をいただいたことに対し、改めて謝意を表する次第である。



講座修了証の交付